

開催日時：2003 年 5 月 19 日（月） 12：30～16：00

場 所：大津プリンスホテル 2 階 コンベンションホール「淡海 6」

参加者数：委員 14 名、河川管理者 15 名、一般傍聴者 117 名

1 決定事項

- ・5 月 25 日(日)開催の一般意見聴取試行の会は部会の活動として行われることが確認された。
- ・5 月末までに、各委員は説明資料（第 1 稿）および具体的な整備内容シート（第 1 稿）の琵琶湖部会に関連する部分についての具体的な意見、提案等を庶務に提出する。

2 審議の概要

委員会、他部会の状況報告

資料 1「委員会および各部会の状況（提言とりまとめ以降）」をもとに報告が行われた。

「説明資料（第 1 稿）」および「具体的な整備内容シート(第 1 稿)」についてテーマ別部会での検討を参考にしでの意見交換

)資料 2-2「テーマ別部会の状況報告（開催状況、主な意見等）」をもとに、テーマ別部会の審議内容の報告が庶務より行われた後、各部会所属の委員より追加・補足が行われた。

)資料 2-1「淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料（第 1 稿）(庶務による琵琶湖部会関連箇所へのマーク入り)」をもとに、説明資料と整備内容シート（第 1 稿）の琵琶湖部会に関連する部分について、部会長より「部会としてこれだけは主張すべき、整備計画としてこの項目は載せるべき、こう書くべき等の点についてできるだけ具体的に意見交換して欲しい」との説明の後、主に資料 2-1 の P1～6 に関して意見交換が行われた。

<主な意見>

はじめに、河川整備計画の基本的な考え方、計画策定について

- ・直轄管理区間ではない琵琶湖をどういうふうに扱うべきかを“はじめに”に書いて欲しい/行政主導型から住民との協働型の河川整備へ転換するという意思表示を入れてほしい/現在の河川の自然的な価値についても盛り込むべき等

河川環境について

- ・ある程度自然にまかせて「ここはしばらく手を加えない」整備があってもいいのでは/魚類の連続性回復について内湖・湿地に加えて水田も農水省と連携して検討すべき/外来種対策には進入・繁殖しにくい構造の検討も必要/水辺移行帯の整備は冠水に大きな影響がある水位とセットにして検討すべき/施策の実施の順番を整理する必要がある等
- 一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 1 名から、整備計画の内容に沿って議論するのではなく提言の具体化を議論すべき/ダムについて部会で数字を含めた具体的な議論を/瀬田川へ 1500m³/s 流して下流がもつのか、これだけ流す必要性があるのか。数字についても検討してほしい等の発言があった。

3 今後の予定

次回の第 23 回琵琶湖部会は 6 月 10 日(火) 13:30～16:30 に開催する。その後の日程として、6 月 26 日(木)、7 月 9 日(水)のそれぞれ 13:30～16:30 の開催が予定されている。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。